

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公開番号】特開 2015-167778 (P2015-167778A)

【公開日】平成 27 年 9 月 28 日 (2015.9.28)

【年通号数】公開・登録公報 2015-060

【出願番号】特願 2014-46132 (P2014-46132)

【国際特許分類】

A 4 5 D 8/00 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 8/00 5 0 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 20 日 (2016.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゴム紐で予め束ねた頭髮に装着する髪止め具であって、

前記頭髮を束ねた前記ゴム紐の外周を覆う環状形状を有し、前記ゴム紐で束ねた前記頭髮を前記環状形状の内側に挿入するための切れ目を有する環状部を備え、

前記環状部の内側には、前記環状部が前記ゴム紐の外周位置からずれることを規制するための突起部が形成されている、

ことを特徴とする髪止め具。

【請求項 2】

前記突起部は、前記頭髮の長さ方向の両側から前記ゴム紐を挟む位置にそれぞれ形成される櫛状部によって構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の髪止め具。

【請求項 3】

前記突起部は、前記頭髮の長さ方向の両側から前記ゴム紐を挟む位置にそれぞれ形成される凸条部によって構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の髪止め具。

【請求項 4】

前記環状部は、少なくとも 1 つのヒンジを有し、前記ヒンジを中心にして前記環状部を開閉することで、装着の際には前記切れ目を広げて前記頭髮の挿入を容易にするとともに、装着後は前記環状部の径を狭めて前記突起部による規制を確実にすることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の髪止め具。

【請求項 5】

前記環状部は、台座部と、前記台座部の両端に設けられた 2 つのヒンジと、前記ヒンジによって前記台座部の両端のそれぞれに開閉自在に取り付けられた 2 つのアーム部とを有し、

前記台座部の内側には、前記頭髮の長さ方向の両側から前記ゴム紐を挟む位置に前記突起部がそれぞれ形成されている、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の髪止め具。

【請求項 6】

前記環状部の前記切れ目の部分には、前記環状部の径を調整可能に係止する係止部が設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の髪止め具。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記課題を解決するために、本発明は、ゴム紐で予め束ねた頭髮に装着する髪止め具であって、前記頭髮を束ねた前記ゴム紐の外周を覆う環状形状を有し、前記ゴム紐で束ねた前記頭髮を前記環状形状の内側に挿入するための切れ目を有する環状部を備え、前記環状部の内側には、前記環状部が前記ゴム紐の外周位置からずれることを規制するための突起部が形成されている、ことを特徴とする。

このような構成によれば、簡易に装着できるとともに、自由な装飾を施すことが可能となる。